

青少年赤十字 JRC って何？

船引小学校長 安生昌弘

今、JRC 委員会の委員長さんが JRC に加盟し、全校生が活動していきますと宣言をしました。だから、全校生が、まず JRC って何か分からないといけませんよね。まず、JRC って何か、そして何をしたら良いのかについて話します。

JRC とは Junior Red Cross のことです。Junior は青少年、子どものこと、Red は、赤色、Cross は十文字のことです。Red Cross 赤い十文字、つまり赤十字は赤十字社と言って、戦争の時とか自然災害の時とかに敵味方や国に関係なく人々の命を守る凄い国際団体なのです。その赤十字の子どもの部に船引小学校のみんなは登録・加盟と言って仲間入りするわけです。全国では 1 万 4 千校の幼稚園から高等学校が加盟して、子どもの仲間は 340 万人いるそうです。福島県の幼稚園・学校の数 10 倍、福島県の全部の人の数の 2 倍も全国に仲間がいるそうです。

では、JRC に入ったら何をすればよいのでしょうか。2 つあるのだけれど、1 つは「ボランティア活動」です。今日は 1 年生でも分かるように易しい動物たちの絵で説明します。

まず、左上のカエルは何を見えていますか。そうです。おんぶしているカメですね。カメの一番上の子ガメが落ちそうになっていることに気がしました。「気づく」です。

次に丸太橋の上では、ウサギは何をしていますか。そうですね。クマを助けていますね。その前にクマを見て目が見えないのじゃないかと気づき考えて橋を渡る手助けをしていますね。下のウサギは、タヌキに駆け寄っていますね。溺れているタヌキと助けようとしているタヌキに見て気づき考えて、助けるのを手伝おうとしていますね。「考える」です。

最後にリスは何をしていますか。小鳥の巣箱を作ってあげていますね。サルは何をしていますか。花に水をあげていますね。モグラは何をしていますか。花を食べちゃいそうなヤギを止めようとしていますね。キツネは何をしていますか。皆の広場を掃除していますね。そうです。皆、誰かのためになりそうなことに気づき、自分ができることを考え、実際にやっているんです。行動に移しているんです。つまり「実行する」です。

「ボランティア活動」とは困っている人や皆が喜びそうな事に「気づき」、自分には、どんなことが出来るかなとか、どうしたら喜んでもらえるかなと「考え」、何かを貰えることを期待せずに自分から進んで「実行する」活動なのです。実は 6 年生が、朝に校舎内を掃除してくれていますが、午後の掃除の時間のよう決められていない掃除ですから「ボランティア活動」と言えますね。また、この前、校舎内を歩いていたら、落ちていた紙くずをゴミ箱に捨ててくれた人や使っていない教室やトイレの電気を消してくれた人、皆のトイレスリッパを揃えてくれた人を見かけました。これも「ボランティア活動」になります。「気づき、考え、実行する」って結構難しいことですから、初めの内は 1 週間に 1 回、慣れてきたら 1 日 1 回、チョットのボランティア、「チョボラ」を船小の全員が出来るようになってほしいなあと考えています。「気づき、考え」は皆の 3 つの目標の内「かしこく」と、「実行する」は「やさしく」とも関係していますから、全員で頑張りましょう。

JRC 活動のもう 1 つは「世界を良く知り、人々と仲良くすること」です。英語を教えてもらっている Jesse 先生や Allison 先生、Sierra 先生から外国のことをたくさん教えてもらって仲良くなってください。

1 年生から 6 年生の全員が、JRC の一員として友だちと力を合わせて船引小学校や田村市をより良くしてくれることを期待しています。

これは6月6日の全校放送集会で話した内容です。

